

令和8年度第1回小林市地域公共交通活性化協議会・地域公共交通会議 会議要旨

開催日時：令和8年4月28日（火） 14時00分～15時00分

開催場所：小林市役所2階 第1会議室

出席者等：出席委員12人、代理出席3人、欠席委員3人、事務局2人

【会議要旨】 ※ [] 内は話者

1 開会〔事務局〕

2 会長あいさつ〔会長〕

今年度は小林市の地域公共交通計画を策定する。当協議会で委員の皆様と十分に協議をさせていただきながら計画策定を進めていきたい。

3 委員及び事務局職員自己紹介〔委員、事務局〕

4 説明

(1) 小林市地域公共交通活性化協議会及び地域公共交通会議概要について

【資料1 P1～4】

<質疑> なし

5 議事

(1) 小林市の公共交通事業の令和7年度事業実績及び令和8年度事業計画並びに評価について【資料2 P5～14】

<質疑>

〔A委員〕

資料5ページの評価指標（公共交通機関の利用者数）の令和7年度実績は何の数字の合計か。

〔事務局〕

資料12ページ上段コミュニティバスの利用者数と13ページ中段野尻地区コミュニティバスの通学を除いた利用者数と13ページ下段野尻地区コミュニティバス（内山線）の人数の合計である。野尻地区の通学利用者数は現在の地域交通計画にも記載されているが、含まない数としている。

〔B委員〕

それぞれの目標に対する令和8年度目標値の考え方はどのように定めているのか。

〔事務局〕

令和元年度を基準値として、コロナ禍以降、実績が伸び悩んでいるが、令和8年度の目標値としては、コロナ以前の水準に戻すことを目標としており、基準値に近い値になっている。

◆原案承認

(2) 令和9年度地域内リーダー系統確保維持計画について【資料3 P15～24】

<質疑なし>

◆原案承認

(3) 令和8年度小林市地域公共交通活性化会協議会事業計画(案)、収支予算(案)及び監査委員の選任について【資料4 P25~26】

<質疑>

[C委員]

計画策定支援事業者の選定に係る公募とはどのような内容か。

[事務局]

計画策定について、支援事業者の専門的なサポートや主に調査業務(グループインタビューや乗降調査等)についてサポートをお願いする業者を公募し、手を上げた業者にプレゼンテーションをしてもらい選考をするもの。選考にあたっては、当協議会委員からも数名に審査委員として御協力をいただきたいと考えている。

◆原案承認

[事務局]

令和7年度予算について、国庫補助金が入金されて間もないこと及び昨年度監査委員をお願いしていた委員が今年度は委員となっていないため令和7年度予算の監査が未だ実施できていない。監査の事前準備が整い次第、令和8年度監査委員の両名に令和7年度分の監査をお願いしたい。

◆事務局案承認

(4) 地域公共交通計画策定の方針について【資料5 P27~31】

<質疑>

[D委員]

(補足説明) 地域公共交通計画策定については、今後の地域の公共交通をどう描いていくのかという設計図を作るようなイメージである。各委員におかれては、自分たちの地域の公共交通をどう描き直すかの視点でご協議いただければよいと考えている。

[E委員]

市の総合計画には縛られず、独自の計画として考えてよいものであるか。

[事務局]

総合計画については、「地域の移動手段の確保」という大きな目標や目指すべき姿を掲げている。その目標の実現のために策定するのが交通計画であり、総合計画と紐付く形でより具体的な計画になるという考え方のもと今後議論いただきたいと考える。

[F委員]

県内にバス事業者が23あるが、どこも運転士不足であり、ドライバーの確保が難しい状況である。計画を策定しても、その計画を実行するためにはドライバーが必要。事業や施策を検討する際は、長期的な視点でドライバーの確保を念頭においてほしい。

◆原案承認

6 その他

<質疑等なし>

7 閉会